

# 平成 28 年度事業報告書

## 1 統計情報の利活用技術に関する調査・研究等に関する事業

統計情報の多角的な利用を推進するため、高度利用のための調査、研究及び開発を行った。成果は、機関誌へ掲載するとともに学会等において発表した。

(自主研究)

### (1) 統計データによる都市地域分類研究会

統計情報の利活用の高度化及び促進の方策を研究するため、国勢調査小地域統計データを利用した統計地図作成と都市地域分類に関する研究を行っている。28 年度は、国勢調査小地域統計データを利用した統計地図作成方法の検討並びに東京都区部及び周辺部における人口分析やその手法に関する研究を行った。

(文部科学省科学研究費研究)

### (2) 文部科学省科学研究費による研究

#### ① 新世帯類型の構築と世帯構造の変動に係る長期時系列分析

(基盤研究 C) 研究期間：平成 26～28 年度

平成 26～28 年度の研究成果をまとめ、研究報告書を刊行した。

#### ② 戦後伝統芸能興行の標準化済みデータベースの整備

(基盤研究 C) 研究期間：平成 26～28 年度

#### ③ 公的統計の精度および提供方法に関する研究

(基盤研究 C) 研究期間：平成 27～29 年度

#### ④ ミクロ統計データベース（アジア地域の政府統計（家計関係）ミクロデータのリサンプリングによるデータベース）の作成

(研究成果公開促進費（データベース）、研究期間：平成 25～28 年度)

平成 28 年度は、バングラデシュ、モンゴル及びベトナムのミクロデータのデータベース化を行った。また、統計数理研究所との共同により、この 3 か国の統計局職員各 2 名を招いて国際比較分析等を行う国際ミクロデータ・ワークショップを 12 月に開催した。

(受託研究)

### (3) 平成 30 年土地基本調査に係る法人土地・建物基本調査標本設計の検討等業務

国土交通省からの受託業務で、平成 30 年に実施する法人土地・建物基本調査に向けて、①母集団名簿整備手法の検討、②平成 30 年土地基本調査の精度向上に向けた検証、③パネルデータによる企業の土地所有・利用に関する変化の分析、④平成 30 年法人土地・建物基本調査に向けた標本設計等の検討、⑤土地動態調査に係る名簿作成、復元倍率（乗率）の作成、⑥土地基本調査研究会における討議・検討等の業務を行った。

- (4) 平成7年及び10年国民生活基礎調査匿名データ作成等業務  
厚生労働省からの受託業務で、統計データ利用促進のため厚生労働省が一般への提供を予定している平成7年及び10年の国民生活基礎調査の匿名データA案及びB案の作成等の業務を行った。
- (5) 部分肉の価格情報公表に関する調査研究  
公益財団法人日本食肉流通センターからの受託業務で、部分肉の価格情報に関する調査研究として、新たな算定方法により、平成22年1月分～29年3月分の取引価格データに対する遡及集計等を行った。
- (6) 平成27年国勢調査地域メッシュ統計編成用同定データ作成業務  
総務省統計局からの受託業務で、平成27年国勢調査基本単位区（調査区）境界データと8分の1地域メッシュ枠データを、(株)ゼンリンの住宅地図データ、人口分布点データ及び国土交通省国土地理院の基盤地図情報を用いて、対応付けた同定データを作成した。また、統計局から貸与されたデータを用いて、同定するために必要なデータ（参照用コンスタントデータ）を作成した。
- (7) 平成26年経済センサス基礎調査地域メッシュ統計編成用同定データ作成業務  
総務省統計局からの受託業務で、統計局から貸与された「平成26年経済センサス基礎調査メッシュ用名簿データ」を所定の方法によって2分の1地域メッシュに対応付けた。また、統計局から貸与されたデータを用いて、各種の参照用コンスタントデータを作成した。さらに、「メッシュ用名簿データ」のうち、新規事業所については、アドレスマッチングによって経緯度を付与し、それ以外の事業所については、所定の方法で同定用の経緯度を付与した。

(研究発表)

(8) 学会等における研究発表

以下の各テーマについて、学会等において研究発表を行った。

- ・「昭和期における実演芸術公演の長期統計の作成」：2016年度統計関連学会連合大会；坂部裕美子
- ・「2010年国勢調査マイクロデータから全自動で構築したSASデータベースに基づく新世帯類型の設計と開発」：SASユーザ総会2017；安井浩子・中川雅義・周防節雄
- ・「新世帯類型による国勢調査マイクロデータの分析結果の概要」：SASユーザ総会2017；新井郁子・米澤香・中川雅義
- ・「新世帯類型の構築と世帯構造の変動に係る長期時系列分析」：2017年度統計関連学会連合大会；中川雅義・米澤香
- ・「国勢調査マイクロデータから新開発した新世帯類型による世帯構造の長期時系列分析の結果」：研究集会「公的統計のマイクロデータ等を用いた研究の新展開」；中川雅義・米澤香・新井郁子
- ・「国勢調査マイクロデータを使った新しい世帯分類方式「新世帯類型」の設計と開発」：研究集会「公的統計のマイクロデータ等を用いた研究の新展開」；周防節雄・中川雅

義・安井浩子

- ・「3つの国際拠点空港が周辺地域に与えた影響～地域メッシュ統計による人口・産業の分析～」：経済統計学会 2017 年度全国研究大会；新井郁子・西内亜紀・草薙信照
- ・「統計データと GIS を用いた地域分析」：経済統計学会全国研究大会「統計チュートリアルセミナー」（テーマ「小地域統計情報の利用と活用ー人口減少社会における地域課題の分析ー」）；小西純

(その他)

(9) 研修講師等

- ・立教大学経済学部の講師として、「政策情報処理 A・B」を担当し、統計データ及び G-Census についての利用・分析方法について講義した。
- ・阪南大学の非常勤講師として、「ビジネスデータ分析 1, 2」を担当した。
- ・総務省統計研修所本科（総合課程）「GIS（地理情報システム）」及び同統計基本課程「GIS による統計活用」について研修を実施した。
- ・総務省統計研修所特別コース「東北地域統計セミナー」において、「GIS を利用したビッグデータ等の政策活用事例」について講義を行った。
- ・愛媛県「統計セミナー」「国勢調査でわかる愛媛県の地域人口分析」及び「G-Census の操作方法等の紹介」について研修を実施した。
- ・茨木市「統計調査員研修会」及び「経済センサス・国勢調査のデータを利用した地域分析」について研修を実施した。
- ・東三河統計研究協議会において「12 月職員研修会」「平成 22 年国勢調査からわかる東三河小地域分析」及び「G-Census の操作方法等の紹介」について研修を実施した。
- ・渋谷区登録調査員研修会「国勢調査データを用いた地域分析」について研修を実施した。
- ・総務省統計研修所「国及び地方公共団体職員向け統計研修コンテンツの企画案の作成及び開発等業務」における「統計研修コンテンツ検討会」に委員として参加した。
- ・立教大学社会情報教育研究センター「愛媛県東温市事業所把握調査における平成 26 年経済センサスー基礎調査のマッチングによるデータ補完・分析の研究」に、アドバイザーとして参加した。
- ・世田谷区統計登録調査員研修「国勢調査データを利用した世田谷区における地域分析」について研修を実施した。
- ・品川区統計登録調査員研修「統計データを用いた品川区における地域分析・利活用」について研修を実施した。

(10) 統計情報の多角的利用のためのコンサルティング及び加工等事業

統計データの利用ニーズに応じて、統計データを加工・編成し提供した。平成 28 年度のデータ提供実績は、合計 1,502 ファイル（利用件数 284 件）で、内訳は、集計結果データが 1,385 ファイルで、普及編成データが 117 ファイルであった。

データ内容別には、調査結果が 262 ファイル、地域メッシュ統計が 1,162 ファイル、町丁・字等別統計が 78 ファイルであった。

## 2 統計 GIS 活動奨励及び G-Census プレゼンテーション資料作成コンテスト事業の実施

近年発展の著しい地理情報システムと統計情報の一体的利用に関する理論・技術等に関する活動に対する奨励事業として、平成 28 年度も統計 GIS 活動奨励賞の授与を行った。また、統計 GIS 利用の普及・啓発を促すことを目的として、G-Census プレゼンテーション資料作成コンテストを平成 28 年度も実施した。両活動については、統計情報セミナーの冒頭において表彰式を行った。

### (1) 統計 GIS 活動奨励賞

- ・梶田 真（東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系准教授）

『小地域統計を利用した地域経済・社会の動態分析』

### (2) G-Census プレゼンテーション資料作成コンテスト（10 点）

#### ○最優秀賞

- ・「孤独な子育て世帯を探せ」川口健太（川崎市役所）

#### ○優秀賞

- ・「世田谷区の待機児童政策の改善案」池田侑生（他 1 名）（立教大学経済学部）
- ・「高知県の健康寿命を伸ばそう！」稲浪翼（他 2 名）（立教大学経済学部）

#### ○奨励賞

- ・「子育て世代の都市から地方への移住～住環境と経済的支援の影響～」平山遼恭（他 3 名）（麗澤大学経済学部）
- ・「インバウンドマーケティングに関する訪日外国人の機会と課題」楚良彩音（他 1 名）（実践女子大学人間社会学部）
- ・「害獣被害の要因について」寺崎悠人（他 4 名）（福島大学人文社会学群経済経営学類）
- ・「自殺における地域変動の要因」小林和史（他 4 名）（福島大学人文社会学群経済経営学類）
- ・「在留外国人から見る日本の課題」中島康輔（他 4 名）（大阪経済大学情報社会学部）
- ・「大阪府の幸福度に関する研究」中垣内順也（他 4 名）（大阪経済大学情報社会学部）
- ・「犯罪率から見る外国人の移住による東京の発展」阪上木乃実（他 2 名）（立教大学経済学部）

## 3 統計に関する知識の普及・啓発等に関する諸事業

統計に関する知識の普及・啓発を促進するため、以下の刊行物を出版した。

- ア 機関誌「ESTRELA」の刊行・配布  
前年度に引き続き、機関紙「ESTRELA」を毎月刊行・販売した。国公立図書館、大学図書館等には無料配布した。
- イ PSI（ポケット統計情報）の刊行・配布  
統計情報の利活用推進の一助として、「PSI2017（ポケット統計情報）」を作成し、無料配布した。
- ウ 統計実務基礎知識の刊行・販売  
統計の役割や統計行政の概要に関する基礎的な事項から、統計の加工・分析方法まで、統計実務全般を網羅した「統計実務基礎知識－平成 28 年 3 月改訂－」を刊行・販売した。
- エ 統計調査員のしおりの刊行・販売  
統計調査員が統計調査の仕組み、役割及び仕事の内容について正しい知識を持って安全に活動するための参考資料として「統計調査員のしおり－平成 29 年 2 月改訂－」を刊行・販売した。

#### 4 統計講座、統計情報セミナー事業

(1) 統計担当職員を対象とした講習会等の開催

総務省及び文部科学省（統計グラフ指導者講習会のみ）の後援を得て、次の講習会等を開催した。

- ① 統計実務基礎研修  
開催日：平成 28 年 6 月 2 日～3 日  
参加者：52 名
- ② 統計グラフ指導者講習会  
開催日：平成 28 年 6 月 23 日～24 日  
参加者：38 名
- ③ 産業分類講習会  
開催日：平成 29 年 2 月 23 日～24 日  
参加者：55 名

(2) 統計情報セミナーの開催

総務省統計局の後援を得て、統計関係者等を対象としたセミナーを東京都内において下記のとおり開催した。

- ① 開催日時：平成 29 年 2 月 15 日
- ② 会場：ベルサール神保町
- ③ 講演テーマ、講師  
「データサイエンスの構築と推進」  
・データサイエンスの最近の動向

岩崎 学 成蹊大学理工学部教授 日本統計学会会長

・統計検定試験の概要と今後の展開

美添 泰人 青山学院大学経営学部プロジェクト教授

・「社会人のためのデータサイエンス・オンライン講座」の概要と実績

吉田 明子 総務省統計局統計情報システム課課長補佐

④ 参加者：75名

## 5 全国統計大会及び統計グラフ全国コンクールに関する事業

### (1) 全国統計大会の共催

第66回全国統計大会を総務省と共催で、内閣府、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、(一社)日本経済団体連合会及び都道府県統計連絡協議会の後援を得て、平成28年11月16日(水)に渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホールで開催した。

(大会次第)

・主催者挨拶

総務省高市早苗総務大臣

公益財団法人統計情報研究開発センター伊藤彰彦理事長

・表彰

① 第1回地方公共団体における統計利活用

② 「統計調査功績者」各省大臣表彰

③ 第64回統計グラフ全国コンクール入賞者表彰

④ 平成28年度「統計の日」標語入選者表彰

⑤ 大内賞授与

・受賞者代表謝辞

・統計・データサイエンス活用セミナー

「地方公共団体における統計利活用表彰受賞団体の取組」に関する発表

「統計グラフ全国コンクール大臣賞受賞者の取組」に関する発表

(参加者) 国、地方公共団体、民間統計関係団体、研究者、統計調査員等約600名

### (2) 統計グラフ全国コンクールの開催

第64回統計グラフ全国コンクールを総務省と共催で、文部科学省、全国統計教育研究協議会、日本放送協会、(一社)日本統計学会及び(一社)日本品質管理学会の後援、(公財)矢野恒太記念会及び富士通株式会社の協賛並びに都道府県統計主管課及び都道府県統計協会の協力を得て実施した。

応募作品は、全国で26,284作品であり、この中から、各都道府県での第一次審査を経て、中央で第二次及び第三次審査を経て、171作品を入賞作品として決定した。

入賞作品のうち、総務大臣賞1作品、文部科学大臣賞1作品、日本統計学会会長賞1作品、日本品質管理学会賞1作品のほか、特選2作品が第66回全国統計大会において表彰された。

## 6 統計調査総合補償事業

統計調査の円滑な実施に協力する観点から、統計調査員の賠償事故の補償及び統計調査員同行者の災害補償等を目的とした「統計調査総合補償事業」を行った。

## 7 統計関連の学会等支援事業

### (1) 統計関連学会への協力

日本統計学会、応用統計学会、日本計量生物学会、日本計算機統計学会及び日本分類学会の委託を受けて事務局事務を行ったほか、統計質保証推進協会（統計検定試験の企画・実施等）への支援を行った。

### (2) 統計関連学会連合及び同大会の事務局事務

統計関連学会連合の委託を受け、同連合の会計事務を行った。また、金沢大学において開催された「2016 統計関連学会連合大会」の運営支援を行った。

### (3) 大内賞に対する助成及び事務局事務

元統計委員会委員長大内兵衛博士の我が国の統計への業績を記念するために創設された大内賞を賛助するとともに、大内賞委員会の事務局事務を行った。

### (4) 全国統計教育研究協議会の事務局事務

小中学校での統計教育の重要性に鑑み、同協議会の事務局を引き受けており、平成 28 年度は、年次研究大会（第 62 回全国統計教育研究大会埼玉大会）の開催、機関誌「統計教育研究」（通巻 81 号）の刊行及び日本統計学会との共催による統計教育に関する研究会（第 13 回統計教育の方法論ワークショップ）の開催を支援した。

## 8 開発途上国等への統計技術支援及び国際協力に関する事業

開発途上国に対する統計の発展に寄与するため、統計に関する技術協力・支援を行った。平成 28 年度は以下の事業を行った。

### (1) ネパール国 2018 年経済センサス実施に向けた中央統計局能力強化プロジェクト

本プロジェクトは、平成 28 年 3 月から 5 年間の予定で開始された独立行政法人国際協力機構（JICA）によるネパール中央統計局（CBS）に対する技術協力プロジェクトで、総務省を中心に、当財団と（株）日本経済研究所との共同企業体が一体となって支援する官民合同型のプロジェクトである。その第 1 年次事業として、平成 28 年 11 月から随時、調査企画、調査区地図作成等の短期専門家をネパール中央統計局（CBS）に派遣し、2018 年経済センサスの準備作業の支援を実施した（延べ約 170 人日）。また、経済センサス担当の 4 名の CBS 職員を招聘して日本の経済センサスに係る第 1 回本邦研修を実施した（約 3 週間）。

### (2) モンゴル国家統計局への統計技術支援

平成 28 年度は、総務省統計局とモンゴル国家統計局との間の協力協定の締結及び当財団との 4 回目の協力協定締結の準備のため、理事長が統計局職員 2 名とともにモンゴル国家統計局を 9 月に訪問した。また、平成 29 年 2 月に、国家統計局長アリウンザヤ・アユシュ氏、管理部長ツェヴェグドルジ・チメドツェレン氏及び国際関

係協力課長ガンチメグ・ミジドルジ氏を招聘し、総務省統計局とモンゴル国家統計局との間の協力協定締結を支援した。これに併せて、当財団とモンゴル国家統計局との間でも平成 29 年度から 5 か年の新たな協力協定を締結した。

## 9 運営に関する事項

評議員選定委員会、理事会、常勤役員候補者選考委員会及び評議員会を以下のとおり開催した。

### (1) 評議員選定委員会の開催

評議員選定委員会

開催日：平成 28 年 4 月 12 日（火）

場所：統計情報研究開発センター3 階会議室

議案

- 次期評議員の選任に関する件

### (2) 理事会の開催

#### ① 第 1 回理事会

開催日：平成 28 年 6 月 2 日（木）

場所：統計情報研究開発センター3 階会議室

議案

- 平成 27 年度事業報告に関する件
- 平成 27 年度決算報告に関する件
- 特定資産取得・改良資金取扱規程に関する件
- 平成 28 年度定時評議員会の開催日等に関する件
- 定時評議員会に提出する理事候補者名簿の件

#### ② 第 2 回理事会

開催日：平成 28 年 6 月 20 日（月）

場所：統計情報研究開発センター3 階会議室

議案

- 代表理事選任に関する件
- （報告事項）代表理事による事業報告

#### ③ 第 3 回理事会

開催日：平成 29 年 3 月 22 日（水）

場所：統計情報研究開発センター3 階会議室

議案

- 代表理事（会長）選任に関する件
- 平成 29 年度事業計画に関する件
- 平成 29 年度収支予算に関する件
- （報告事項）代表理事による事業報告



(3) 常勤役員候補者選考委員会の開催

常勤役員候補者選考委員会

開催日：平成28年6月13日（月）

場所：統計情報研究開発センター3階会議室

議案

- 常勤役員候補者の選考に関する件

(4) 評議員会の開催

定時評議員会

開催日：平成28年6月20日（月）

場所：ベルサール九段4階ROOM3

議案

- 議長の選出の件
- 議事録署名人の選出の件
- 平成27年度事業報告に関する件
- 平成27年度決算報告に関する件
- 任期満了に伴う理事の選任に関する件